

嘱累品三箇の大事

第一 従法座起の事

御義口伝に云はく、法座起とは塔中の座を起ちて塔外の儀式なり。三摩の付嘱有るなり。三摩の付嘱とは身口意の三業、三諦三観と付嘱し玉ふなり云云。

第二 如来是一切衆生之大施主の事

御義口伝に云はく、如来とは本法不思議の如来なれば、此の法華經の行者を指すべきなり。大施主の施とは末法当今流布の南無妙法蓮華經なり。主とは上行菩薩の事と心得べきなり。然りと雖も当品は迹化付嘱の品なり。又上行菩薩を首として付嘱し玉ふ間、上行菩薩の御本意と見えたるなり云云。

第三 如世尊勅 当具奉行の事

御義口伝に云はく、諸菩薩等の誓言の文なり。諸天善神菩薩等を日蓮等の類の諫曉するは此の文に依るなり。